

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【公開番号】特開2010-66159(P2010-66159A)

【公開日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2008-233682(P2008-233682)

【国際特許分類】

G 0 1 C 21/00 (2006.01)

G 0 8 G 1/005 (2006.01)

G 0 9 B 29/10 (2006.01)

G 0 9 B 29/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 C 21/00 Z

G 0 8 G 1/005

G 0 9 B 29/10 A

G 0 9 B 29/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月2日(2011.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報処理装置を使用して行う情報処理方法であって、

(a) 情報処理装置を使用して測定位置情報を取得する測定位置情報取得工程であって、前記測定位置情報は、前記測定位置情報を取得した時点の前記情報処理装置の位置である測定地点を表す情報である、測定位置情報取得工程と、

(b) 過去に取得された前記測定位置情報の前記測定地点が、所定の長期時間区間内において、所定の領域内に、所定値  $T_h$  以上 ( $T_h$  は正の整数) の頻度で存在することを含む第1の取得条件が満たされる場合に、前記所定の領域内の少なくとも一部の前記測定地点に関連する第1種の避難地点に関する第1種の避難地情報を、前記少なくとも一部の測定地点に含まれる測定地点の前記測定位置情報に基づいて、通信回線を介して取得する第1種避難地情報取得工程と、

(c) 前記第1種の避難地情報を前記情報処理装置が備える記憶部に記憶させる第1種避難地情報記憶工程と、  
を備える情報処理方法。

【請求項2】

請求項1記載の情報処理方法であって、さらに、

(d) 前記測定位置情報取得工程で取得した前記測定位置情報の前記測定地点の属性を表す属性情報を取得する測定地点属性情報取得工程を含み、

前記第1の取得条件は、さらに、前記測定地点が所定時間以上滞在するための施設であること、を含む所定の属性条件を、前記少なくとも一部の測定地点の前記属性情報が満たすことを含む、情報処理方法。

【請求項3】

請求項1記載の情報処理方法であって、さらに、

(d) 前記測定位置情報取得工程で取得した前記測定位置情報の前記測定地点の属性を表す属性情報を取得する測定地点属性情報取得工程を含み、  
前記第1の取得条件は、第1の下位条件と第2の下位条件の少なくとも一方を満たすことであり、

前記第1の下位条件は、

(i) 前記過去に取得された測定位置情報の測定地点が、前記長期時間区間内において、前記所定の領域としての第1の領域内に、前記所定値 $T_h$ としての $T_{h1}$  ( $T_{h1}$ は正の整数)以上の頻度で存在すること、かつ、

(ii) 前記測定地点が所定時間以上滞在するための施設であること、を含む所定の属性条件を、前記所定の領域内の少なくとも一部の前記測定地点の属性情報が満たすことを含み、

前記第2の下位条件は、前記過去に取得された測定位置情報の測定地点が、前記長期時間区間内において、前記所定の領域としての第2の領域内に、前記所定値 $T_h$ としての $T_{h2}$  ( $T_{h2}$ は $T_{h1}$ より大きい整数)以上の頻度で存在することを含み、情報処理方法

。

#### 【請求項4】

請求項1ないし3のいずれかに記載の情報処理方法であって、さらに、

(e) 災害の発生に起因する所定の事象が起こった場合に、前記記憶部に記憶された避難地情報に基づいて、情報の出力を行う出力工程を含み、

前記第1種避難地情報記憶工程は、

前記第1種の避難地情報を取得した際の前記測定位置情報と関連づけて、前記第1種の避難地情報を前記記憶部に記憶させる工程を含み、

前記出力工程は、

前記所定の事象が起こった場合に、前記記憶部に記憶された前記避難地情報として、前記記憶部に記憶された前記第1種の避難地情報のうちの少なくとも一つであって、現在時刻を含み前記長期時間区間より短い短期時間区間に取得された前記測定位置情報と、前記記憶部内において前記第1種の避難地情報に関連づけられている前記測定位置情報と、に基づいて選択された避難地情報に基づいて、前記情報の出力を行う工程を含む、情報処理方法。

#### 【請求項5】

請求項1記載の情報処理方法であって、さらに、

(d) 前記測定位置情報取得工程で取得した前記測定位置情報の前記測定地点の属性を表す属性情報を取得し、前記測定位置情報と関連づけて前記記憶部に記憶させる測定地点属性情報記憶工程であって、前記属性情報は、前記測定地点が交通機関の駅であることを表す情報を含む場合がある、測定地点属性情報記憶工程と、

(e) 災害の発生に起因する所定の事象が起こった場合に、前記記憶部に記憶された避難地情報に基づいて、情報の出力を行う出力工程と、を含み、

前記第1種避難地情報取得工程は、前記第1の取得条件として、前記過去に取得された測定位置情報の前記測定地点が、前記長期時間区間内において、前記所定の領域としての前記駅を含む領域内に、前記所定値 $T_h$ 以上の頻度で存在することを含み条件が満たされる場合に、前記第1種の避難地情報を取得する工程を含み、

前記情報処理方法は、さらに、

(f) 前記第1の取得条件が満たされる領域に含まれる第1の駅と、前記第1の取得条件が満たされる領域であって前記第1の駅の前記領域とは異なる領域に含まれる第2の駅と、の間の途中駅の地点に関連する第2種の避難地点に関する第2種の避難地情報を、前記記憶部に記憶された前記測定位置情報であって関連づけられた属性情報が前記第1の駅を表す前記測定位置情報と、前記記憶部に記憶された前記測定位置情報であって関連づけられた属性情報が前記第2の駅を表す前記測定位置情報と、に基づいて、所定の第2の取得条件が満たされる場合に取得する第2種避難地情報取得工程と、

(g) 前記第2種の避難地情報を前記記憶部に記憶させる第2種避難地情報記憶工程と、

を含み、

前記出力工程は、前記所定の事象が起こった場合に、前記記憶部に記憶された前記避難地情報として、前記第1種と前記第2種の少なくとも一方の避難地情報に基づいて、前記情報の出力を行う工程を含む、情報処理方法。

**【請求項6】**

請求項5記載の情報処理方法であって、

前記第1種避難地情報記憶工程は、前記第1種の避難地情報を取得した際の前記測定位置情報と関連づけて、前記第1種の避難地情報を前記記憶部に記憶させる工程を含み、

前記第2種避難地情報記憶工程は、前記第2種の避難地情報を取得した際の前記途中駅に関する位置情報と関連づけて、前記第2種の避難地情報を前記記憶部に記憶させる工程を含み、

前記出力工程は、前記所定の事象が起こった場合に、前記記憶部に記憶された前記避難地情報として、前記記憶部に記憶された前記第1種または第2種の避難地情報のうちの少なくとも一つであって、現在時刻を含み前記長期時間区間より短い短期時間区間に取得された前記測定位置情報と、前記記憶部内において前記第1種または第2種の避難地情報に関連づけられている前記測定位置情報または前記途中駅に関する位置情報と、に基づいて選択された避難地情報に基づいて、前記情報の出力を行う工程を含む、情報処理方法。